

平成19年11月20日

## 稲城市介護支援ボランティア制度における介護予防効果の目標値について

稲城市

稲城市の介護支援ボランティア制度の介護予防効果シミュレーションでは、国の目標値に比較して、より低い目標値を設定した。

### 【稲城市の目標値】

介護支援ボランティア活動参加者について、介護認定率が5%減少する。

$$\begin{array}{l} \text{（介護支援ボランティア人数）} \quad \text{（稲城市の介護認定率）} \quad \text{（設定効果）} \\ \text{効果人数} = 100人 \quad \times \quad 13.0\% \quad \times \quad 5\% \quad = \quad 0.65人 \end{array}$$

### 【国の目標値】

介護予防事業対象者について、その20%が要支援者等にならない。  
（高齢者人口の5%が介護予防事業の対象者）

$$\begin{array}{l} \text{（介護支援ボランティア人数）} \quad \text{（介護予防対象者割合）} \quad \text{（設定効果）} \\ \text{効果人数} = 100人 \quad \times \quad 5\% \quad \times \quad 20\% = 1.0人 \end{array}$$

稲城市の介護支援ボランティア制度の設計では、高齢者人口（10,000人）のうち1%程度（100人）が介護支援ボランティア活動を行うもの推定とした。

（参考）介護保険事業に係る給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針（厚生労働省告示第31号）より

予防給付の効果による認定者数の目標値の設定

要支援・要介護1の者の10%を標準

介護予防事業の効果による認定者数の目標値の設定

介護予防事業対象者の20%を標準

介護予防事業対象者は、高齢者人口に原則5%を乗じた数